

第2次高槻市男女共同参画計画 令和6年度 進捗状況について（報告）

令和5年3月に策定した「第2次高槻市男女共同参画計画」に基づき、各所属が実施している男女共同参画の推進に係る取組の令和6年度進捗状況を報告

● 計画の概要

策定時期	令和5年3月
計画期間	令和5年度から令和14年度
基本理念	男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、職場・家庭・地域社会等のあらゆる分野において、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現
基本目標	- I あらゆる分野における女性の活躍推進 - II 安全・安心な暮らしの確保 - III 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備
取組数	53
取組内容数	86（再掲分含む）

令和6年度 事業実績（主な取組）

<取組実績>

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

●取組1 審議会等委員への女性の参画

1 審議会等の設置数 62
女性委員のいない審議会等の数 4
女性委員率 28.1%

【令和5年度】
審議会等の設置数 57
女性委員のいない審議会等の数 4
女性委員率 29.2%

●取組2 女性職員・教員の登用

2	(職員) ※主査級昇任試験	(教員：小中学校) ※管理職選考〈教頭〉
	・対象者 816人（内女性 415人）	・対象者 918人（内女性 517人）
	・受験者 102人（内女性 14人）	・受験者 14人（内女性 2人）
	・合格者 20人（内女性 3人）	・合格者 6人（内女性 1人）

●取組15 仕事と子育ての両立支援の推進

25 (保育所 入所率) 105% (入所者7,160／定員数6,795)
(延長保育 施設数) 公立12 私立55
(休日保育 施設数) 公立1 私立1
(病児・病後児保育・体調不良児対応型 施設数) 公立10 私立39

基本目標Ⅱ 安全・安心な暮らしの確保

●取組20 性犯罪・性暴力の防止

- 37 小中学校が安全教育・安全指導に活用する「学校安全の手引」の改定を行い、「生命（いのち）の安全教育」に関する指導内容や指導上の留意点を新たに追加した。

●取組24 関係課と連携した総合的な支援

- 43
- ・ DV対応連絡会議 1回
 - ・ 女性相談支援員による相談の実施
DV相談件数 延べ248件（実人数 205人）
女性一般相談件数 236件
 - ・ 女性弁護士による法律相談件数 62件

【令和5年度】
DV相談件数 延べ274件（実人数 209人）
女性一般相談件数 226件
法律相談件数 55件

●取組28 女性相談

- 48
- ・ 困難な問題を抱える女性への支援にかかる「支援調整会議代表者会議」及び「個別ケース支援調整会議」を設置した。
 - ・ 大阪府と連携し、「おでかけ『女性のためのコミュニティスペース』in三島」を開催。悩みや困難を抱える女性に対して、情報提供や相談を行った。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

●取組42 啓発活動

- 70
- ・広報特集「家族の笑顔をつくる パパの育休」を掲載。
 - ・男女共同参画センターにて講座を実施。
全20講座、合計36回、受講者数延べ634人

●取組49 男性の家事・育児・介護等への参画促進に向けた講座等

- 82
- 講座・教室を実施した。
「パパママデビュー教室」30回 など

●取組43 男女共同参画の視点での広報活動

- 73
- ・市職員向け「男女共同参画の視点からの表現ガイドライン」を新たに作成し、周知を行うとともに、研修を実施した。

●取組53 男女共同参画センターの利用拡大

86

子育て層を対象としたミニイベントを実施した。
＜キッズコーナー＞ センター登録団体（3団体）により合計6回、延べ参加者数39人
＜図書・DVDコーナー＞ 保育付き のんびり読書タイム 2回、延べ参加者数14人

キッズコーナー イベント



図書・DVDコーナー イベント



施策の指標

<施策の指標>

●基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

評価指標	策定時 (令和3年度) 割合等	<参考> 令和5年度 割合等	令和6年度 割合等	目標値 令和14年度	備考
審議会等委員の女性委員の割合	29.5%	29.2%	28.1%	40%以上 60%以下	
女性委員のいない審議会等の割合	8.8%	7.0%	6.5%	0%	
女性人材リスト登録者	8名	9名	7名	20名	
高槻市職員の管理職（主査級以上）の女性の割合	19.1%	19.7%	20.1%	30%	特定事業主 行動計画の目標値

●基本目標Ⅱ 安全・安心な暮らしの確保

【参 考】

評価指標の割合等は市民意識調査（令和３年度）による数値。
次回調査は、計画の中間見直しのため、令和８年度に実施する予定。

評価指標	策定時 (令和３年度) 割合等	目標値 令和14年度	備考
配偶者等から身体的・精神的暴力を受けた経験のある人の割合	(※) 全体 25.6% 女性 29.4% 男性 19.4%	減少	
配偶者等から暴力を受けたことがあるが、どこにも相談したことがない人の割合	(※) 全体 57.3% 女性 50.3% 男性 74.6%	減少	
DVを受けた時の相談先が市役所にあることを知っている人の割合	(※) 全体 23.8% 女性 20.6% 男性 28.3%	50%	
「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）」の認知度	(※) 17.9%	25%	

●基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

【参 考】

評価指標の割合等は市民意識調査（令和３年度）による数値。
次回調査は、計画の中間見直し年（令和８年度）に実施予定

評価指標	策定時 (令和３年度) 割合等	目標値 令和14年度	備考
「男女共同参画社会」という言葉の認知度	(※) 全体 50.2% 女性 47.8% 男性 54.3%	80%	
性別による固定的な役割分担意識に同意する人の割合（「夫は仕事」「妻は家庭」賛同割合）	(※) 全体 24.6% 女性 22.7% 男性 27.3%	①全体数値 15.7%以下 ②男女差縮小	
社会全体からみた男女の地位が「平等である」と思う人の割合	(※) 女性 7.0% 男性 15.8%	①20%以上 ②男女差縮小	
男女共同参画センターを利用したことがある人の割合	(※) 全体 0.7% 女性 0.8% 男性 0.5%	3.0% 3.0% 3.0%	